

日本ボストン会 会報

第51号



美術と歴史の会
(修学院離宮)



退任のご挨拶 - ボストン会の更なる発展を祈念する - 会長: 藤盛 紀明

今年は明治維新から150年、昨年は日本ボストン会創立25周年、来年は天皇陛下がご退任になられます。私事ですが私にとっても喜寿の年、大きな節目の年に会長を務めさせて頂きました。退任の挨拶の執筆を通じて、日本ボストン会活動は私の人生の重要な位置を占めていることに気が付きました。また多くの人々の活動によって会が維持・発展してきたことにも気が付きました。幹事・会員の皆様に改めて感謝いたします。

会長就任時の会報に「多くの活動があるが、担当幹事の高齢化に伴い、幾つかの会は合併となり、会員の高齢化に伴い参加者の減少も続いている。会は当初のメンバーと共に老いていくのか、あるいは何らかの活性化策を行うのか、その節目に差し掛かっていると感ずる」と記しました。会活性化対策の一環として、会の今後を検討する「企画委員会」、細田さんを主査とする「プログラム委員会」を設置しました。「プログラム委員会」では会の当初の目的であった「我が国と歴史的にも関係の深いアメリカのニューイングランド地方との交流を促進し、日米友好の増進に寄与する」の推進が始まりました。同委員会には私と一緒に会の創設に努力した土居さん（次次期会長候補）もメンバーに入られました。この事によって、会の中心メンバーに新しい力が加わり、会の活力を蘇らせるようになると確信されます。

会の記録を辿ると多くのことが蘇ります。日露戦争ゆかりのホテルへの寄付、ボストン桜の木記念植樹10周年への桜の苗木寄贈、レディーズ会のボストンツアー、ボストンの先生ホームステイ受け入れなどボストン・ニューイングランドとの交流イベントが多く行われました。更には藤崎先生提案の『日本・ニューイングランド交流の記録』（2000）出版、三好さんの「ボストン日本人学生会の記録」の調査執筆も行われました。このような活動は最近では皆無の状態です。

国内のボストン関係団体：北海道・マサチューセッツ協会、京都ボストン交流の会、名古屋ボストン美術館などとの交流も活発に行われ、札幌や名古屋に出向いての交流は楽しい記憶です。対象となる組織が消滅し、この活動も無くなりました。

同好会活動はボストンのジャズやクラシックの音楽学校卒業生などをお招きして行ったレデイス会の「講演と音楽のゆうべ」が皮切りでした。この活動は関ご夫妻のホームコンサートに引き継がれて活発です。歴史を飲もう会では篠崎さんの案内で古き良き東京・江戸情緒を色々見させて頂きました。東日本大震災前の旧六角堂見学や岡倉天心の足跡を偲んだことは楽しい思い出です（1998）。写真家・文化人の篠崎さんの導きで新たな分野を発見しました。小石川後樂園での紅葉狩り

（2008）には水野さんが車椅子のお母様をお連れになられました。お母様が大変喜んでおられたのを思い出します。十和田・八幡平・角館の紅葉狩り（2015）では八幡平の峠で幸野さんが帽子を飛ばされてしまいました。あの帽子はまだ八幡平に鎮座しているでしょう。お花見の会では当初はボストンからも参加されて千鳥が淵を散策しました。担当幹事の生田さんのクイズや和歌が毎年楽しみでした。富士平原カントリークラブでのゴルフ（1996）は確か参加者2名、現在は山崎さんご夫妻のご努力で古い同好会として健在です。茂木さん、滝沢さん、吉野夫人のお蔭で初めて歌舞伎を見ることが出来ました。これで私も日本人らしくなると誇りに思っています。会員親睦活動は同好会の合併もありましたが、今後も活発に開催されることを大いに期待します。更に今後は「プログラム委員会」の活動によって本来の目的のニューイングランドとの交流活動も再開され、活発化することを祈念します。



NEXT EVENTS

奮ってご参加ください

ハイキングと 紅葉狩りの会

- 越後湯沢 紅葉・温泉・酒の旅 -

日時： 10月25日(木)、26日(金)

集合： 12時45分上越新幹線

越後湯沢駅改札口

詳細： [HP](#)

申込・問合せ： [📧](#)

ドキュメンタリー映画
「PAPER LANTERNS -
灯籠流し」上映会 <詳細>
日時： 11月7日(水) 午後6時半から

音楽の会

ホームコンサート

- 木田陽子さんによる

ピアノリサイタル -

日時： 11月25日(日)

午後2時開演

場所： 関幹事宅

詳細： [HP](#)

申込・問合せ： [📧](#)

ゴルフの会

日時： 11月29日(木)

午前8時30分

インスタート

集合： 8時 10番ティ

場所： 川崎国際生田緑地

ゴルフ場

会費： 4,000円(賞品代及び

パーティー代)

詳細： [HP](#)

申込・問合せ： [📧](#)

総会

日時： 11月26日(月)

午後6時開場、6時半開演

場所： NEC三田ハウス芝クラブ

会費： 5000円(事前払い)

6000円(当日払い)

詳細： [HP](#)

申込・問合せ： [📧](#)

寄稿：観桜会（お花の見会）誕生からの記録

生田 英機

日本ボストン会の活動の一環として各種の分科会がありますが、お花見の会はその中でも歴史が古く、初回は1997年に始まりました。従って今年は誕生以来21歳の御年を迎えました。

例年この会には多数の会員とその知人、友人が集います。特徴は、「花と団子と雑談、放談」と言うところでしょう。参加者が30名を超えたこともあり、集合場所混雑時にはその確認に苦勞した経験から、特別のボストン会ツアー用の旗（緑地に赤いロブスターの絵）を作り、今では他の分科会行事にも採用されています。

例年花見の会幹事が企画を担当します。花見の会初代幹事は藤盛夫妻でしたがその後三好夫妻に引き継が



2012年千鳥ヶ淵

れ、今では三代目が担当しています。企画の要は、花見会場と時間帯（昼間、夜桜）選定、日程、懇親会場選びですが、その各々の思案に例年迷いがありました。

- 会場選び：桜の国の日本、沖縄から北海道まで、桜は毎年桜前線を北上します。花見場所の選定は悩みの種のひとつで結果的には都内中心とその周辺が実績です。中でも千鳥ヶ淵が主力になりました。年年歳歳花相似たりと言いますが、その花木を定点観察するのも面白いものと考えた選択でした。一方で新たな場所をとの提案もありその後、参集スポットも変化し、近郊の鎌倉の桜そして趣向を変えた屋形船からの花見と変化しています。

- 満開日予想：場所をきめても、その日程の選定は厄介物です。例年、一種の小さなギャンブルをする思いです。気候急変、激変に翻弄されることも多々ありました。例年、その年の開花宣言が初めて出るところに最初の候補日を決めました。案内を事前に会報誌に掲載する関係からそれ以前に決めます。最近の気温変動の激しさから予想から大きく外れることが度々ありました。満開でなくとも満腹を楽しんでもらって一息が救いで、懇親会場探しも例年の課題でした。

- 参加人数予想：参加申し込み期日までに何人の申し込みがあるか？参加人数予想は懇親会場所の予約のために大切な仕事となります。幸いと言いますか例年多数の参加者が集う実績で20年を迎えました。

「花衣脱ぐやまつわる紐色々」（久女）、この名句にはそれとない色気が漂っていますが、それはさておき、長く

藤盛夫妻幹事時代

1997年4月4日	千鳥ヶ淵
1998年4月6日	千鳥ヶ淵
1999年4月4日	千鳥ヶ淵
2000年4月2日	千鳥ヶ淵
2001年4月8日	千鳥ヶ淵
2002年3月31日	千鳥ヶ淵

三好幹事時代

2004年4月1日	浜離宮恩賜庭園
2005年4月16日	浜離宮恩賜庭園

生田幹事時代

2006年4月1日	千鳥ヶ淵
2007年3月24日	千鳥ヶ淵
2008年4月4日	千鳥ヶ淵
2009年4月4日	千鳥ヶ淵
2010年4月4日	千鳥ヶ淵
2011年	震災により自粛
2012年4月8日	千鳥ヶ淵
2013年3月31日	目黒川桜並木
2014年4月5日	隅田公園

生田、小野田夫妻共同幹事時代

2015年4月4日	隅田公園
2016年4月4日	古都鎌倉
2017年4月1日	江戸川公園

生田、小野田夫妻、田中共同幹事時代

2018年4月4日	隅田川屋形船
-----------	--------

幹事を務めた花見会の中からまつわる記憶の一端を拾ってみます。

- 2006年、満開の千鳥ヶ淵特別スポットからの花見。

一時里帰りされたボストン在住の方々が花見の会に参加されました。多くの会員もご存知と思いますが、今は亡き、元日本食材を扱っておられた吉野家のオーナー、古川さんもそのお一人でした。この賓客をもてなすべく、元会長、佐々木さんのご紹介で、ご友人がお住まいの千鳥ヶ淵が見下ろせる三井アーバンマンション10階から満開の絶景を楽しみました。

- 2011年、花見休止。

すっかり企画は出来ていましたが、あの東北災害の年。どうしようと思ひながら有志と相談し、花見は自粛となりました。

- 2013年の目黒川花見は気温激変。

近隣にお住いの鶴夫妻から「予定日にはもう花は無いだろう」との連絡を得て、急遽予定を一週間早める結果になりました。懇親会会場との交渉には鶴ご夫妻に大変お世話になり、小さなイタリアレストランで素敵な食事を楽しみました。

- 鎌倉での花見では相当の混雑を覚悟していましたが、当日のすっきりしない曇天が影響したのかさほどの混雑にならずにすみました。それでも久しぶりに参加された當麻さんの姿がなく、しばらくぶりの参加のためか待ち合わせ場所付近で行き違いになるハプニングに遭遇。何とか懇親会場で合流してやれやれ。



2017年江戸川公園

- 江戸川公園と椿山荘の桜の時は小雨交じりの天気。

「春雨じゃ濡れて行こう」の気分でしたが、2時間弱の散策後の食事会が盛り上がりました。会場はイタリア飯屋でしたが、事前に小野田さんが下見、試食を経てその後交渉した特別メニューが好評でした。

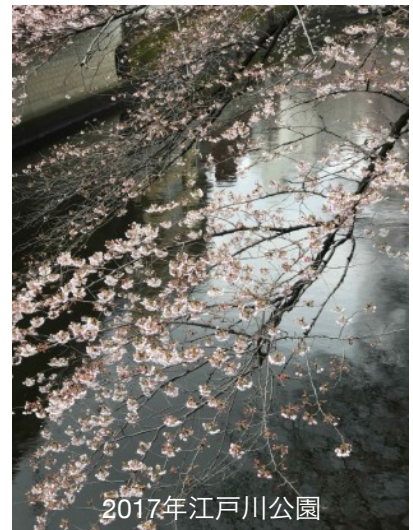
- 今年、2018年4月4日も気温激変にひやひやしました。船の予約の都合で平日開催。初めての屋形船での食事会同時進行での船からの花鑑賞。初対面初参加の方々を含めて14名。ここも食事、歓談に花事情は二の次の好結果でした。満開とは程遠い状況の「なごりの散り桜」でしたが「再度やるべし」との声がありました。この年も「花より団子」に軍配です。



2018年隅田川屋形船

当分科会始まって以来、その企画に従って例年多数の参加者に助けられてきました。ちょっと気になることは、その参加人数が減衰傾向にあるということでしょう。

うか。今後も継続すべきか、どんな形が良いのか。最近、ボストン会全体のあり方がプログラム委員会を通じて議論されています。その場を通じても当花見の会の行く末への助言、提言を期待します。



2017年江戸川公園

WG活動（2018年4月～2018年8月）

2018年（平成30年）

4月4日

お花見の会（隅田川屋形船）

5月30日&31日

美術と歴史の会（京都）

ワーキンググループ活動報告

お花見の会

屋形船（浜田屋）乗船による隅田川のお花見&懇親会

田中 英俊

4月4日、14名で2時間の「隅田川、屋台舟の観桜川下り」を楽しみました。11時半に北千住集合。今年は予想外の暖かな日が続き、10日も早まって、満開が3月の23日。残念ながら、葉桜見物になってしまいましたが、天気は「最高」。波もなく、料理も生田さんが「最高」を選んだとあって申し分なく、お酒も飲み放題。

スカイツリーの前で30分ほど停泊し、甲板で初夏のような日差しを浴びて枥酒を楽しみました、帰路、夏には花火を見に来ようという声が沢山上がりました。



ゴルフの会

山 崎恒

ボストン会秋季ゴルフ懇親会は、4月19日に川崎国際生田緑地ゴルフ場で開催する予定でしたが、参加者が少なく開催することができませんでした。秋季ゴルフ懇親会は同じ川崎国際生田緑地ゴルフ場で11月29日に開催予定です。奮ってご参加ください。

美術と歴史の会

京都旅行記

三好 彰

京都の修学院離宮と桂離宮を参観した。関東地区会員に京都在住会員のジャメンツ夫妻が加わって全体で18人であった。手続きに沿って離宮の参観の申し込みをして幸い全員に参観の許可が得られた。しかし同一時間帯での見学はかなわなかった。

5月30日の修学院離宮は参観の開始時間が午前11時、午後1時半、そして午後3時の3グループに分かれた。いずれの時間帯もあいにくの雨であった。しかし小降りだったので歩くのに支障は無かったし、気温が下がったおかげで歩きよかった。修学院離宮は後水尾上皇の山荘として17世紀半ばに造営された。総面積は54.5



万平米（東京ドーム11個半分）。この中に散在する建物と庭をめぐるのに急な山道を上り下りした。建物ばかりでなく大きな池や滝もあって大工事だったわけである。

夕食を宿泊先の新都ホテル内のレストランで摂った。京野菜の老舗の姉妹店であり、季節の野菜を目でも愛でつつ味わった。山道を歩き終えた心地よさもあって咽喉を潤すと歓談に花が咲いた。



5月31日の朝は曇天であった。桂離宮の参観は午前9時開始と10時開始の2つのグループに分かれた。桂離宮は修学院離宮より半世紀ばかり前、つまり17世紀初頭に後陽成天皇の弟・八条宮智仁親王によって宮家の別荘として造営された。総面積は6万9千平米。複雑な形の池を廻る回遊式庭園であり、池の周りに数寄屋風の建物が配置されている。夜来の雨でぬれた歩

きよいとは言えない山道を滑らないように気を付けて廻った。

京都在住会員ジャメンツご夫妻が見つけてくださった二条城そばの京料理店で昼食を摂った。我が会でお店を借り切った。歓談中に雨が降り出し本降りとなった。午後に二条城の見学を予定していたが雨が強いのでここで散会とした。

フォトブックで個人出版

小野田勝洋

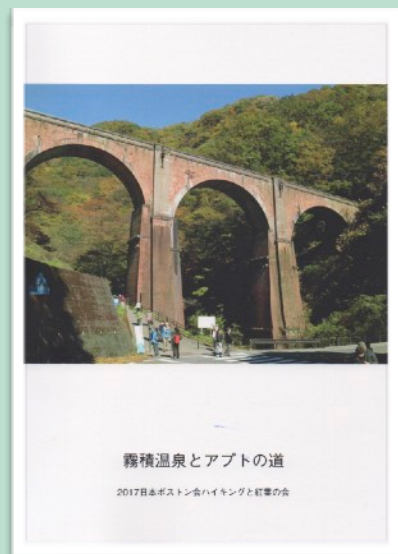
ネットは便利なものですからホームページやブログやSNSで色々な情報を発信できます。一方、冊子はネットとは違って、手に取って見ることができる、携帯性に優れる等の利点があります。しかし、冊子を作るのは高価です。特に一冊あるいは数冊だけ作るというのはとても高価につきます。ところが、今はネットのフォトブックサービスを使って安価・容易・迅速に冊子が作成できるようになりました。フォトブックは本来写真を集めて冊子にするものですが、文章や図中心の冊子も簡単に作ることができます。

フォトブックサービスでは写真を扱います。写真というのはJPEGデータです。本の1ページは文や図を主体とするので通常はWORDデータでページを作ります。

WORD 1 ページを1枚の写真と考え、WORDデータをJPEGデータに変換できればフォトブック用の1ページを作ることができます。費用的には数十ページの冊子が1冊千円程度で、時間的には原稿を送ってから1週間程度で本ができてきます。この方法で今までにボストン会関係の以下の様な本を試作してみました。

- ・日本ボストン会の記録
- ・お花見の会の記録
- ・音楽の会の記録
- ・健康法
- ・奥入瀬十和田角館旅行記
- ・アプトの道旅行記
- ・尾瀬旅行記
- ・京都旅行記

この方法は個人の自費出版にも適していますので、シニアの方々の人生記録冊子の制作にも向いていると思います。制作にあたってはちょっとしたノウハウなどもあります。ご関心を持たれた方はご連絡ください。



ボストンだより - 3

2018 Fall

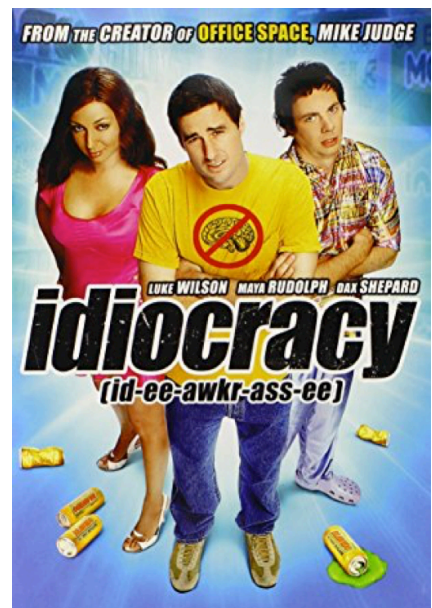
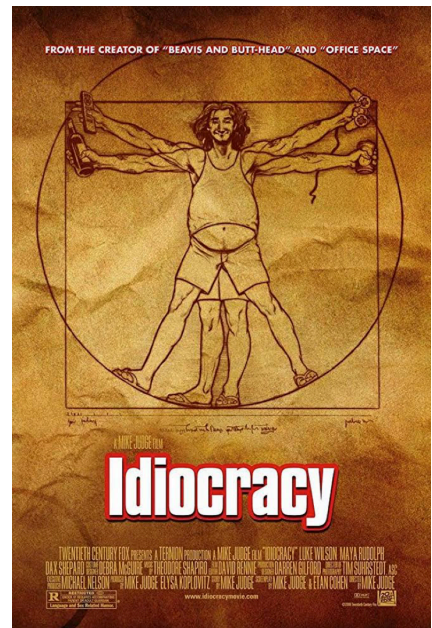
八代 江津子

第3弾となりました。暮らし、食べ物、生活、さて次にくるのは、政治？いえいえ、これはなかなか踏み込めない世界ですが、ボストンの生活の中で見えているものを少しご紹介します。

メディアと大統領との攻防戦が続いている今日この頃です。都合の悪い報道は全てフェイクニュースとし、報道の真偽を脅かす大統領相手に、8月16日全米の350を超えるメディアが報道の自由を訴える社説を一齐に掲載しました。これには、流石に政治に疎い私も大きな驚きでした。この音頭を取ったのが、アメリカ最古の新聞社、我ら、ボストンのボストン・グローブです。この呼びかけにはほぼ全てのメディアが賛同、報道を敵と称する大統領に対する抗議は党を問わず、ほぼ全てのメディアの参加でした。民主主義の揺らぎに問いかけが行われた感です。メディア対大統領という戦いの構図が顕在化したことに不安さえ覚えました。フォックスニュースがどのように今後の報道を変えて行くのか否かが庶民としては興味深いところ です。

少し脱線しますが、“IDIOCRACY”『26世紀青年』(日本名)というブラックコメディ映画があります。この映画を12年前に見たときには大笑いをしました。映画の最後に「製作者フォックス」と出てきたときには、さらに大笑いです。非常にくだらない内容でしたがその皮肉さに私のお気に入りの作品にもなりました。今年に入り、ホラー映画としてハーバードが上映会をしました。内容は500年冷凍されていた平均的IQの男性が500年後の未来に冷凍が解かれ天才としてその時代に活躍する話です。日本語でもビデオなどで出ているようなので是非機会があればご覧いただければと思います。ただ、見た後にこんなくだらない映画を推薦するなんて！と怒らないでください。その場合は「ハーバードのご推薦！」と私は逃げさせていただきます。

最後に気になる生活のお話です。アマゾンの力止まらずの感です。ホールフーズスーパーマーケットがアメリカ全土を席卷していましたが、アマゾンが買収。その後はネット内だけのサービス、アマゾンプライムが実際のマーケットでも幅を利かせています。このプライムに入ることにより、実生活へのディスカウントが行われています。選ぶものにもよりますが、ほぼ15%のディスカウント。これには入らずにはられません。一部のマーケットでは、レジを通らず、そのまま欲しいものを自分のバックに入れて帰るだけで料金はネット上でのバンクにチャージされます。新しいことについて行くは大変な今日この頃です。



ドキュメンタリー映画「PAPER LANTERNS – 灯籠流し」 上映会

日本ボストン会にゆかりのあるピーター・グリーリ氏がプロデュースした、「PAPER LANTERNS-灯籠流し」の上映会を城西国際大学紀尾井町キャンパスにて開催します。

今回は来日されるグリーリ氏をお招きし、映画の解説とともに皆様とのひとときをお楽しみいただきます。

日時：2018年11月7日（水） 18:30～20:30（TBA）

会場：城西国際大学紀尾井町キャンパス1号棟地下ホール

<http://www.josai.jp/access/>

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26 TEL.03-6238-1300

会費：参加費無料、懇親会費（5,000円程度 - TBA）（当日お支払いいただきます）

ご参加希望の方は、baj-kanji@googlegroups.comまで

1：映画のみ参加

2：懇親会のみ参加

3：両方参加

を選択の上ご連絡ください。

担当：日本ボストン会プログラム委員（北原、細田、八代）

A Screening of a documentary film PAPER LANTERNS (Produced by Peter Grilli)

We are pleased to share a documentary film, PAPER LANTERNS, produced by Mr. Peter Grilli. Mr. Peter Grilli and the Director of the film, have been invited as guest speakers to show and talk about the film to BAJ Members and participants in November.

Date: November 7, 2018 (Wed.)

18:30-20:30 Screening and Talk by Mr. Grilli

¥Free (Party fee: About ¥5,000 -TBA)

For reservations (shuji.arcadia@gmail.com)

PAPER LANTERNS-灯籠流し

(www.paperlanternfilm.com)

被爆者でもある、森重昭さんは、40年以上を費やし、被爆米兵の遺族を探し当て、その運命を様々な証言でつづります。

アメリカ人のバリー・フレシェット監督が、森氏の徹底的な調査と、広島を訪ねた2人の遺族と、そしてオバマ大統領の交流の様子をドキュメントし、敵味方を問わずすべての生を奪い尽くしてしまう原爆の非情さと平和への祈りを静かに伝えています。

PAPER LANTERNS tells the little-known story of twelve American prisoners-of-war who were killed by the United States' atomic bomb in Hiroshima in August 1945. It is also the story of Mori Shigeaki, a Hiroshima hibakusha, who was eight years old at the time of the destruction of Hiroshima and who has devoted decades of his life to preserving the legacy of the slain Americans and to creating monuments to their memory. Mr. Mori is the man whom President Obama embraced so warmly in Hiroshima on May 27 of this year, immediately following the President's historic speech in the Hiroshima Peace Park. www.paperlanternsfilm.com

News

名古屋ボストン美術館は本年10月8日をもって閉館します。

<http://www.nagoya-boston.or.jp/>

日本ボストン会事務局 

〒153-0064 東京都目黒区下目黒4-17-6

会報の原稿を募集します。内容はボストンやニューイングランドに関連のあるものとします。ご寄稿頂ける方は、掲載についてご相談をさせた頂きたい、事務局までご連絡ください。連絡先：